

特定非営利活動法人ハンガー・フリー・ワールド(HFW)
2017年12月度 定例理事会 議事録

- 開催日時 2017年12月18日(月)18:15~21:15
- 開催場所 特定非営利活動法人ハンガー・フリー・ワールド事務所
- 役員総数 9名(理事7名、監事2名)
- 出席者数 7名
関口和孝理事長、西岡はるな副理事長、長谷川雅子理事、原田麻里子理事、
渡邊清孝理事・事務局長、大島仁志監事、矢崎芽生監事
- 書面表決者数 2名
山本のり子理事、渡邊奈美子理事
- 欠席者数 0名

■議事

1. 開会(司会:渡邊理事・事務局長)
2. 出欠確認(上記の出欠状況が報告された)
3. 理事長挨拶
4. 議事録署名人の任命
長谷川雅子理事、渡邊清孝理事・事務局長が、関口理事長より任命された。
5. 議事

【報告事項】

◎財務

渡邊事務局長より、資料 H-1 の報告がされた。

◎会員／ひとつぶ募金拡大状況

渡邊事務局長より、資料 H21 の報告がされた。

◎改善・管理部門、資金調達・広報、地域開発、アドボカシー、啓発活動、青少年育成

改善・管理部門担当職員の熊坂より資料 H-3、資金調達担当職員の芦刈・石川、広報担当職員の糟谷より資料 H-4、地域開発担当職員の佐藤真美より資料 H-5、アドボカシー担当職員の米良より資料 H-6、啓発担当職員の米良(海外)・佐藤唯(国内)より資料 H-7、青少年育成担当職員の米良(海外)・佐藤唯(国内)より資料 H-8、渡邊事務局長より資料 H-9 の報告がされた。

【協議事項】

◎理事会での海外事業の検討ポイント

職員の佐藤真美・米良より、資料 K-1 の資料が上程され、以下の役員の意見をもとに、提案書を作成し、次回理事会で審議することとなった。

- ・理事会は、詳細な情報を判断する場ではないため、理事会を含めた 職階の決裁基準の明確化(事業期間や予算額含む)が必要。その権限に応じた、事業のチェックリストがあると望ましい。
- ・経営責任を担う理事会として、中期計画目標の進捗確認は必要。

【審議事項】

◎本部人員体制

渡邊事務局長より資料 S-1 が上程された。人事異動は、本来事務局長決裁事項であるが、「職員の抱える悩み」関連事項であったこと、並びに次年度以降の本部／支部人件費に関連する案件であったため、今回特別に審議事項として審議され、可決された。

◎支部／支部職員 待遇改善策

渡邊事務局長より資料 S-2 が上程され、可決された。なお原田理事より、資金調達の目標と今回提示された 2020 年までの収入見込みが合致していない点について、詳細な根拠の提示のニーズが上げられたが、向こう3年間の流動的な収支全体の詳細を理事会で確認するより、事務局長が予測する収支額を理事会の判断根拠とすることが確認された。

◎海外出張規程改定

職員の熊坂より資料 S-3 が上程され、以下の付帯条件をもとに可決された。

- ・「b.緊急事態」の「本部に来てから 24 時間以内に」を「本部に来次第」に変更する。
- ・次回理事会では、今後必要なことの「出張資格者の整備」、「各種チェックリストの整備」、「有事の際の外部への連絡体制」を審議する。

◎2018 年度 事業計画／予算

渡邊事務局長、職員の佐藤真美、米良より資料 S-4 の議案が上程された。支部予算の決裁権が、本部担当者の属人的な判断で行われているとの支部の誤解を払しょくするため、今回詳細な案件の予算の承認が理事会に求められた。以下の意見／説明がなされ、期中の海外事業の予算変更の可能性もあることを前提に可決された。

- ・支部へ理事会の名前を頻繁に出すことを避けるため、本可決内容の通知は本部の名前を使う。
- ・協議事項の議論同様 決裁権や関連する様式を準備する必要がある。
- ・同様の作業として、業務分掌規程やレポートラインを手配中。

6. 閉会


以上、この議事録が正確であることを証するため、議長ならびに議事録署名人が下記に署名する。

2018 年 / 月 / 日

議長

関 口 和 孝 

議事録署名人

長谷川 雅子 

同

渡邊 清孝 